学校番号	１００７

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｂ　Standard　（東京書籍）						
副教材等	WIDE　数学Ⅱ＋B　（東京書籍） 新編　数学Ｃナビゲーションノート　ベクトル　（数研出版） ３TRIAL　数学Ｃ　ベクトル　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数列	・数列 ・いろいろな数列 ・漸化式と数学的帰納法	a:学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c:・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など 発表　など

2	統計的な推測	・標本調査 ・確率分布 ・正規分布 ・統計的な推測	a:学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c:・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価など 発表など
3	数学と社会生活	・数学的モデル化 ・関数モデル ・確率モデル ・幾何モデル ・フェルミ推定	a:学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c:・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価など 発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度